

## 7. 自転車の利用について

### (1) 自転車を利用する目的

◇「買い物など日常生活での移動」が4割近く、「通勤・通学」が約1割

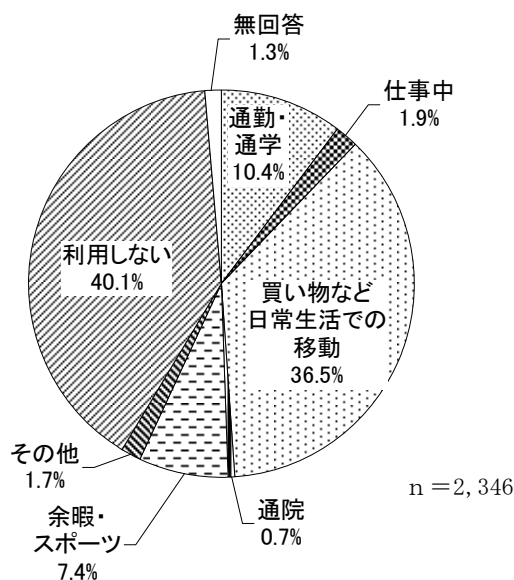
問 18 自転車を主にどのようなときに利用しますか。(○は1つ)

n = 2,346

1 通勤・通学	10.4%
2 仕事中	1.9%
3 買い物など日常生活での移動	36.5%
4 通院	0.7%
5 余暇・スポーツ	7.4%
6 その他	1.7%
7 利用しない	40.1%
(無回答)	1.3%

自転車を主にどのようなときに利用するか聞いたところ、「買い物など日常生活での移動」(36.5%)が4割近くで最も高く、次いで「通勤・通学」(10.4%)、「余暇・スポーツ」(7.4%)などの順となっている。「利用しない」(40.1%)は約4割である。(図IV-7-1)

<図IV-7-1>全体

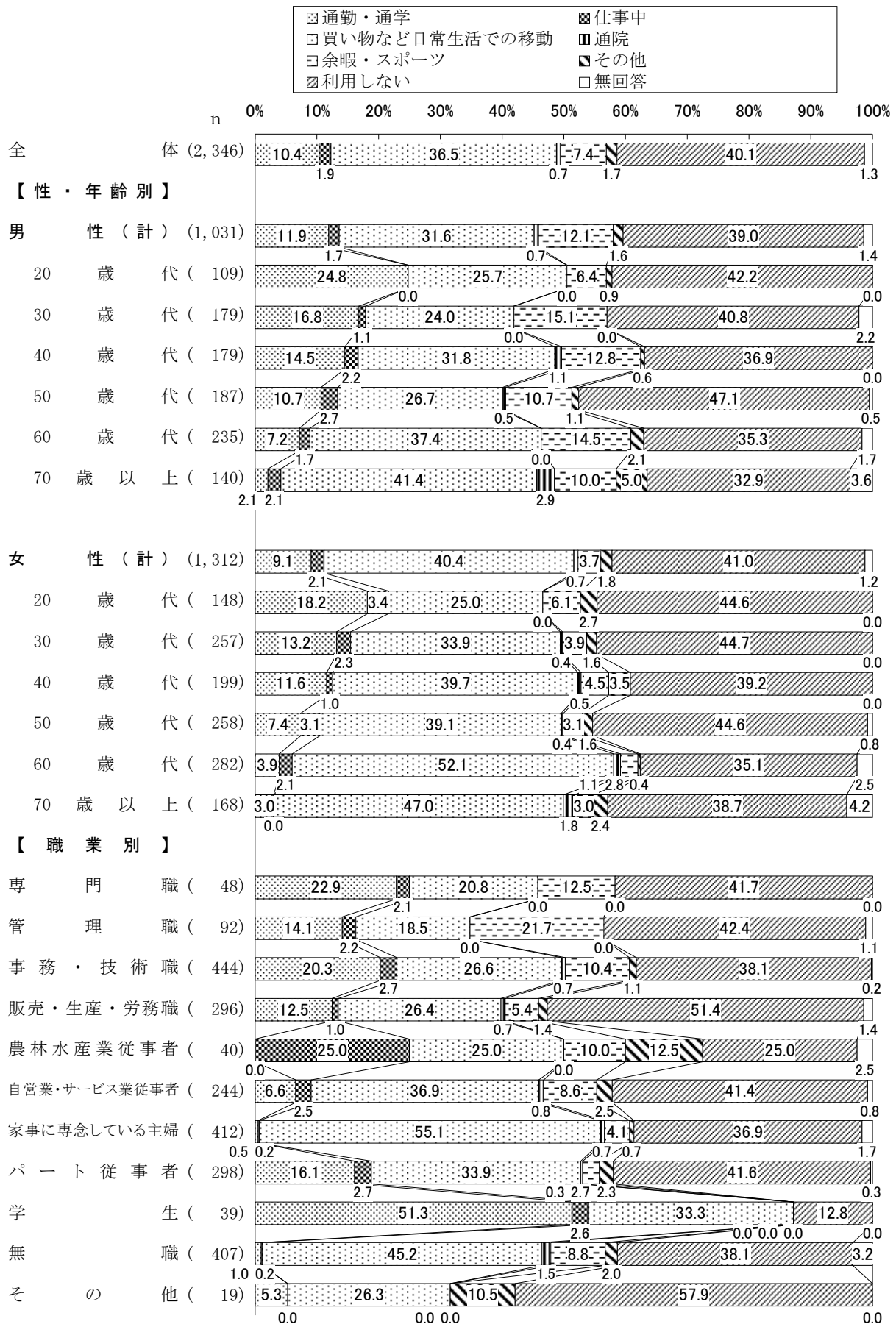


性・年齢別で見ると、「買い物など日常生活での移動」は<女性/60歳代> (52.1%) で5割を超え、<女性/70歳以上> (47.0%) で5割近くとなっている。「通勤・通学」では、<男性/20歳代> (24.8%) で2割台半ばとなっている。(図IV-7-2)

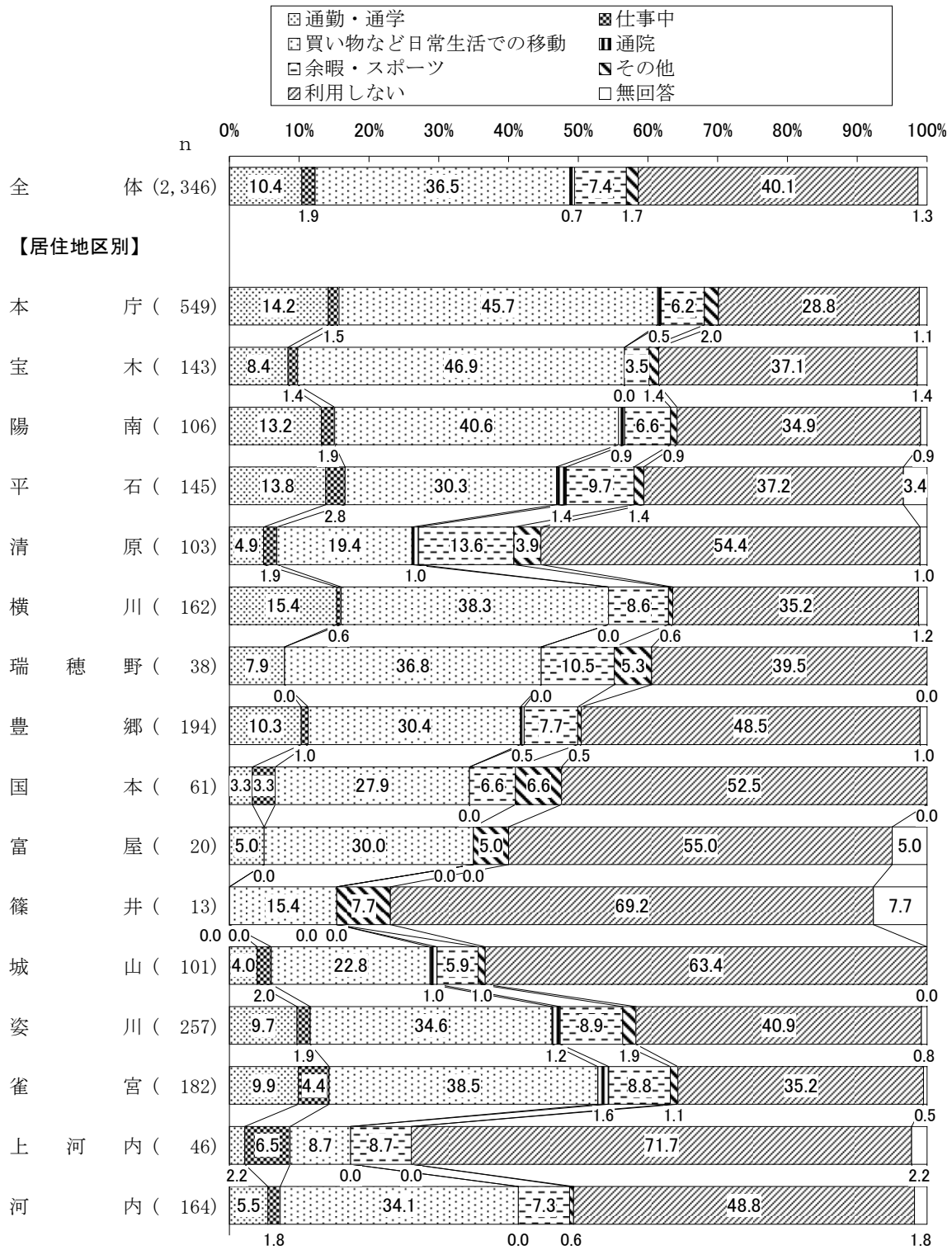
職業別で見ると、「買い物など日常生活での移動」は<家事に専念している主婦> (55.1%) で5割台半ばとなっており、<無職> (45.2%) で4割台半ばとなっている。また、「利用しない」は<販売・生産・労務職> (51.4%) で5割を超えている。(図IV-7-2)

居住地区別で見ると、「買い物など日常生活での移動」は<宝木> (46.9%)、<本庁> (45.7%)、で4割台半ばを超えている。(図IV-7-3)

<図IV-7-2>性・年齢別／職業別



<図IV-7-3>居住地区別



(2) 市内での自転車の使いやすさ

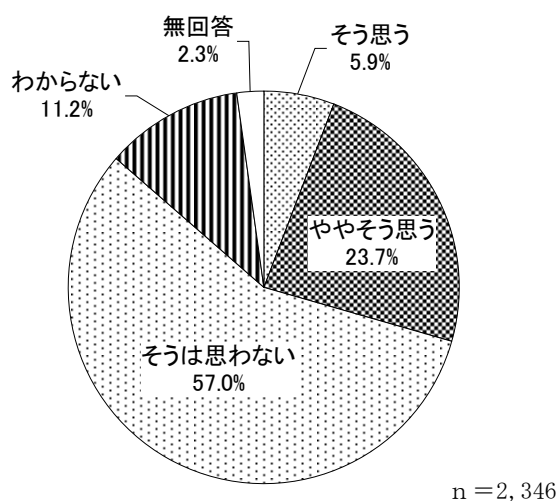
◇【使いやすい(計)】は約3割,「そうは思わない」は6割近く

問 19 宇都宮市は, 自転車を使いやすい街だと思いますか。(○は1つ)

	n = 2,346
1 そう思う	5.9%
2 ややそう思う	23.7
3 そうは思わない	57.0
4 わからない	11.2
(無回答)	2.3

宇都宮市は自転車を使いやすい街だと思うか聞いたところ,「そう思う」(5.9%)と「ややそう思う」(23.7%)の2つを合わせた【使いやすい(計)】(29.6%)は約3割となっている。一方,「そうは思わない」(57.0%)は6割近くとなっている。(図IV-7-4)

<図IV-7-4>全体

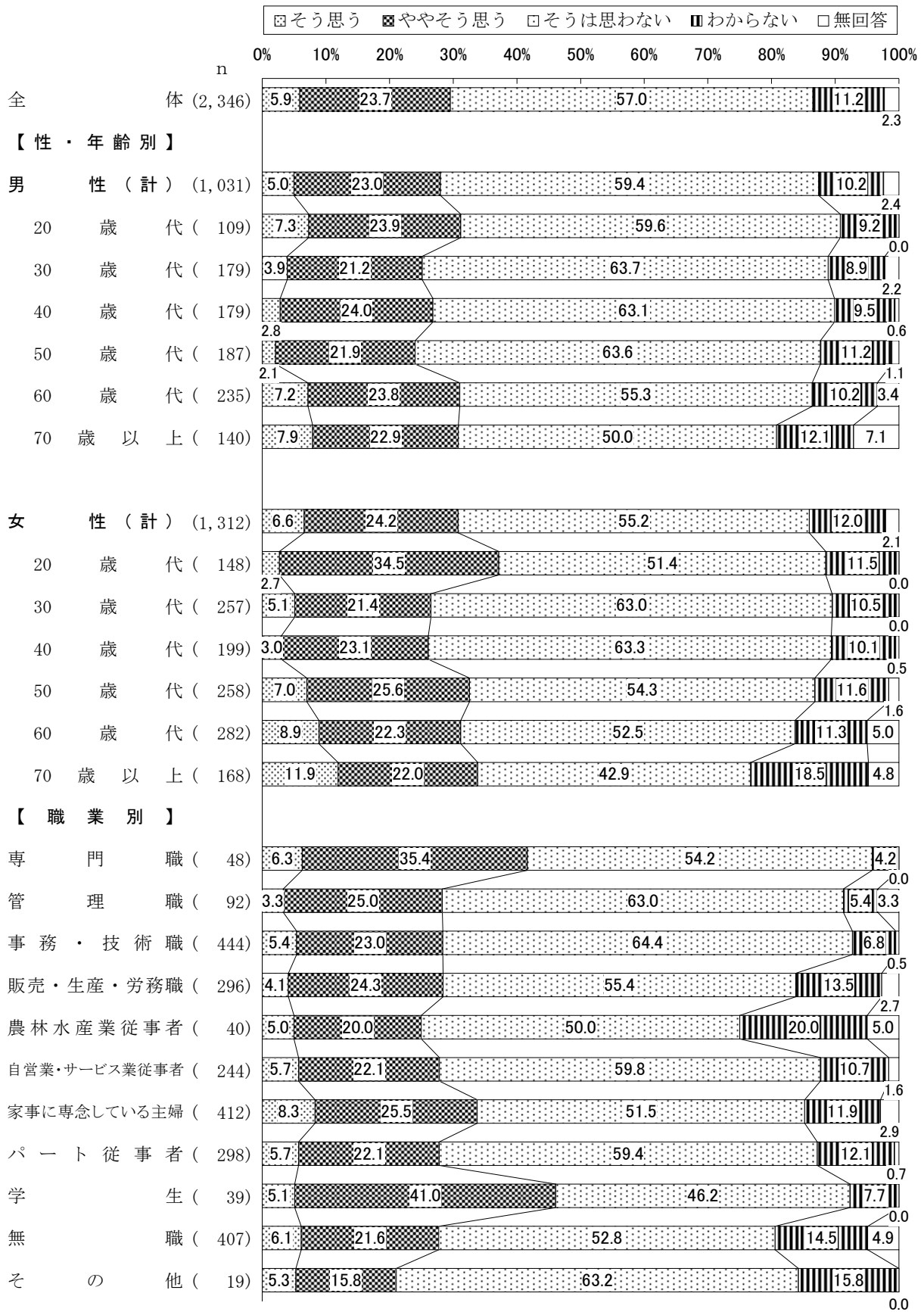


性・年齢別で見ると,「そう思う」と「ややそう思う」の2つを合わせた【使いやすい(計)】は<女性/20歳代>(37.2%)で4割近くとなっている。(図IV-7-5)

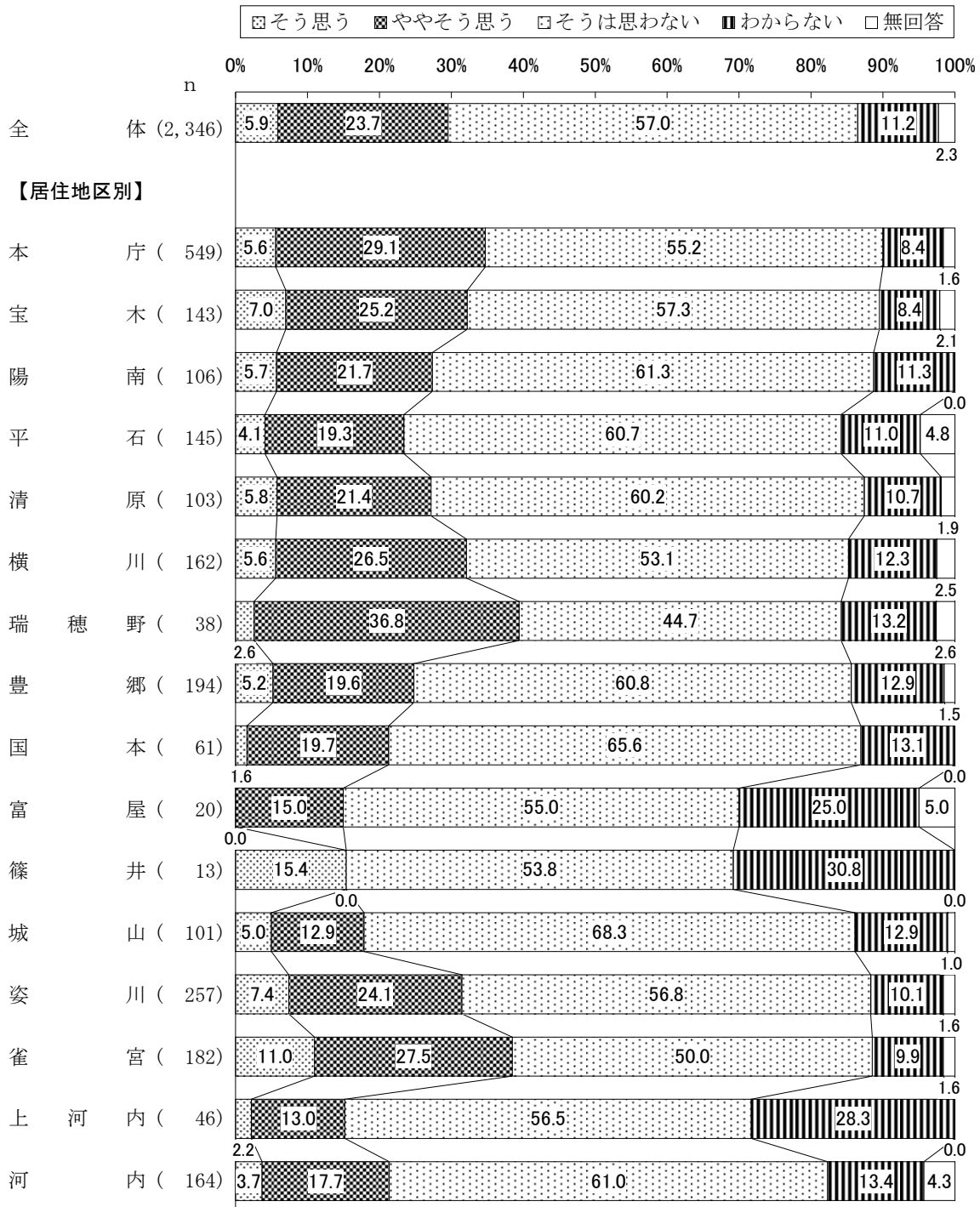
職業別で見ると,大きな差は見られない。(図IV-7-5)

居住地区別で見ると,「そう思う」と「ややそう思う」の2つを合わせた【使いやすい(計)】は<雀宮>(38.5%)で4割近くになっている。(図IV-7-6)

<図IV-7-5>性・年齢別／職業別



<図IV-7-6>居住地区別



(3) 自転車を使いやすい街になるための取組

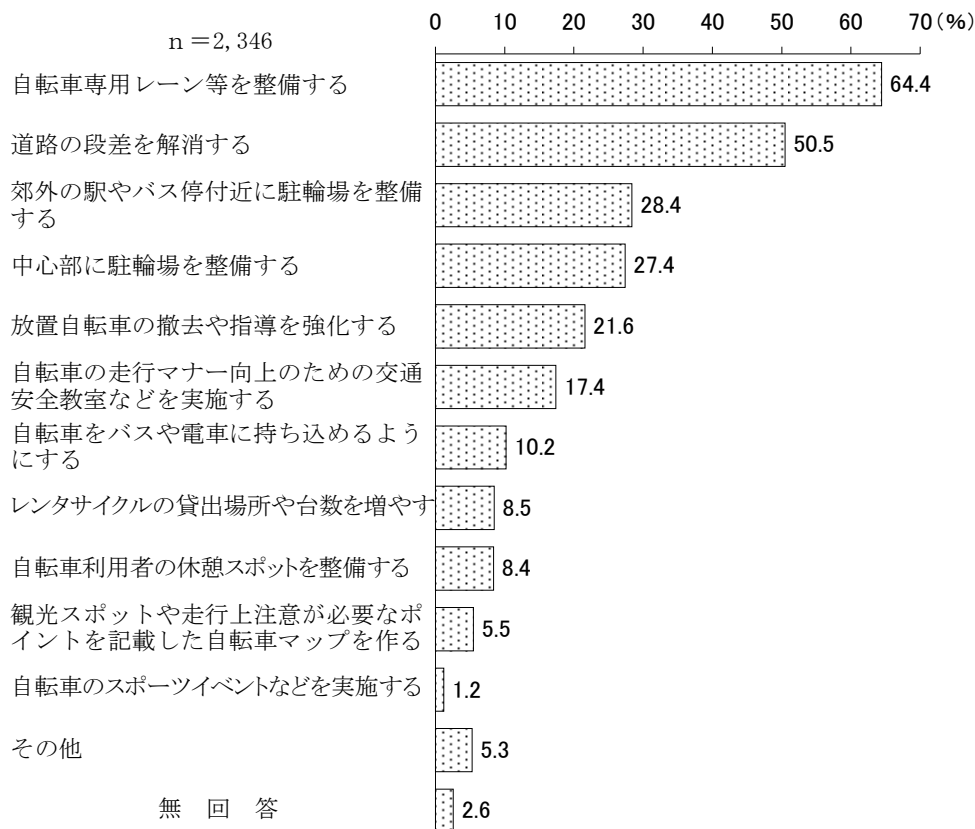
◇「自転車専用レーン等を整備する」が6割台半ば、「道路の段差を解消する」が約5割

問 20 どうすれば、より自転車を使いやすい街になると思いますか。(○は3つまで)		n = 2,346
1	自転車専用レーン等を整備する	64.4%
2	道路の段差を解消する	50.5
3	中心部に駐輪場を整備する	27.4
4	郊外の駅やバス停付近に駐輪場を整備する	28.4
5	レンタサイクルの貸出場所や台数を増やす	8.5
6	自転車利用者の休憩スポットを整備する	8.4
7	放置自転車の撤去や指導を強化する	21.6
8	自転車の走行マナー向上のための交通安全教室などを実施する	17.4
9	観光スポットや走行上注意が必要なポイントを記載した自転車マップを作る	5.5
10	自転車のスポーツイベントなどを実施する	1.2
11	自転車をバスや電車に持ち込めるようにする	10.2
12	その他 (無回答)	5.3 2.6

どうすればより自転車を使いやすい街になると思うか聞いたところ、「自転車専用レーン等を整備する」(64.4%)が6割台半ばで最も高く、次いで「道路の段差を解消する」(50.5%)が約5割、「郊外の駅やバス停付近に駐輪場を整備する」(28.4%)、「中心部に駐輪場を整備する」(27.4%)、「放置自転車の撤去や指導を強化する」(21.6%)がいずれも2割台などの順となっている。

(図IV-7-7)

<図IV-7-7>全体



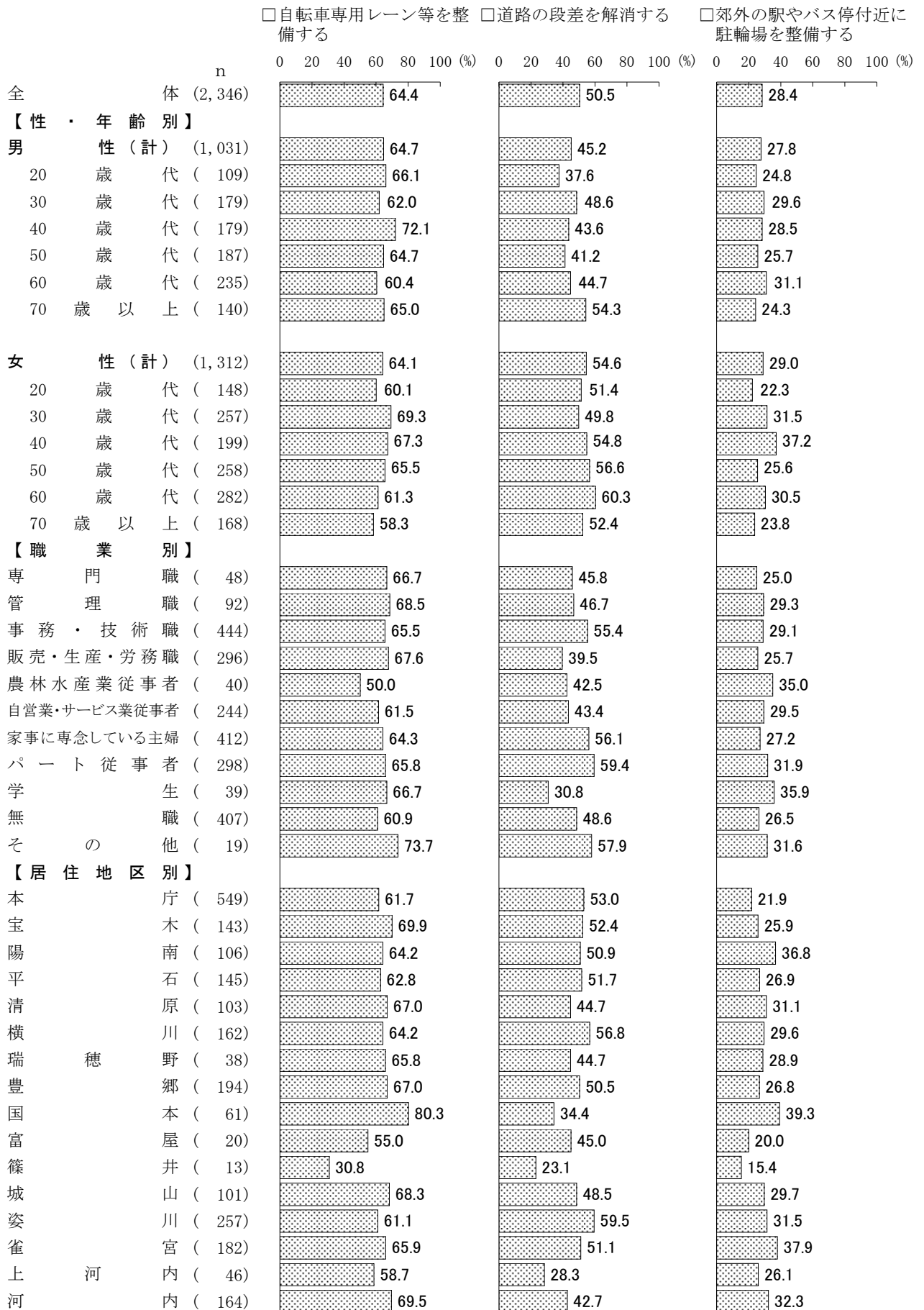


上位6項目について性・年齢別で見ると、「自転車専用レーン等を整備する」は〈男性/40歳代〉(72.1%)で7割を超えている。「道路の段差を解消する」は、〈女性/60歳代〉(60.3%)で約6割となっている。(図IV-7-8)

職業別で見ると、「道路の段差を解消する」は〈パート従事者〉(59.4%)、〈家事に専念している主婦〉(56.1%)、〈事務・技術職〉(55.4%)で5割台半ばを超えている。(図IV-7-8)

居住地区別で見ると、「自転車専用レーン等を整備する」は〈国本〉(80.3%)で約8割となっている。「道路の段差を解消する」は〈姿川〉(59.5%)で約6割となっている。(図IV-7-8)

<図IV-7-8>性・年齢別／職業別／居住地区別



□中心部に駐輪場を整備する □放置自転車の撤去や指導を強化する □自転車の走行マナー向上のための交通安全教室などを実施する

